

# やすらぎの じぞうもじをあなたに

## 三年目の3. 11

今年も3月11日がやってきました。東日本大震災から三年目の3月11日石巻市役所の一階ヘイセイドラッグストアさんの店頭で今年も手書きのポランテアをさせていただきました。今年度は三度目ということもあり、待っていてくれた方が数多くおり嬉しく思いました。約一〇〇名の方へご希望の文字を手書きしました。その中に若い青年がおり、ご希望の文字は何ですか？と訪ねると「石巻」と答えました。「僕は今、福島に住んでいるんです。今回書いてもらうのは三回目です。一番はじめに書いてもらったときは高校生で、「希望」を、次に「未来」を書いてもらいました。今は大学生

で福島に住んでいます。福島で故郷を思い出すので書いて欲しいです。」と話しました。あの当時は高校生だったんだ・・・とその青年を見ながら過ぎた時間の長さを改めて感じました。

### 文字に感じる力

手書きします・・・個展や出張イベントでその場で書くというのを始めてから、いったいどれくらいの人へ書いたのでしょうか。数千人に及ぶだろう数は、私にいろんな事を教えてくれました。希望される文字は、お名前であることが多いのですが、とくに産まれたばかりの赤ちゃんや小さなお子さんの場合は、筆運びはとも軽やかです。それを言葉にすると思ったら、「無垢」を感じるような気がするのです。まだこの世に産まれて間もないからこそ何も染

まっていない名前を持つ「氣」なのかもしれません。子供に無垢を感じて、大人はどうなのか・・・と言うと、これにもいろんな違いがあると感じました。同じ名前の人がいても、感じるものが、全く違うのです。きつと・・・生き方の違いが文字に浸透しているのかも・・・そう感じずにはいられませんでした。そして、名前を書き終えて、その一瞬に浮かんだ言葉を添えているのですが、それもまた受け取る人の心に何かを語りかけているようです。以前、名前を書いてください、というご依頼をいただいたときに、一瞬その文字にちよつとした違和感を感じてこれは本名ですか？と聞いたことがありました。するとその女性は本名ではないことを教えてくれました。その理由は、その名前が好きではないから自分で漢字を変えたんです・・・とのことでした。私は、「元々のお名前の方がピッタリだと思えますよ。親御

さんがつけてくれた名前は、幸せになるようにと願いが込められているのですから、一番力があるんですよ。」と伝えました。すると、その女性は、やっぱりこちら（本名）を書いてください、と注文用紙を書き直しました。「実は、私が名前を変えたことを父ががっかりしてとても嘆いていたんです。これからは名前を元に戻します。」とのことでした。その女性の名前を書いたときの感触はやっぱり生き活きとしていたことを覚えています。



NO. 4  
2014年4月15日発行  
発行者 夕深  
981-1107  
仙台市太白区  
袋原郵便局留  
問い合わせ先  
090-6221-6611

### 子供から離さないもの

今年に入り講演の依頼が続いていきます。講演では、顔文字で人気の「子供から離さないもの」から話し始めます。私も既に手が離れた子供が3人おりますが、子育ては、親育てでもあると思っております。何も考えることなく、乳

葉に出逢いたかった！」と皆さんがおっしゃいます。もっと意識して子育てをしたかったと言うのです。子供が小さいときには、早く大きくならないかな、そんなことを思うこともありませんが、その時々には離さないでいることで、子供の心の中に隙間を作らずに過ごせるのだと感じます。流され

児期には肌を、幼児期には手を、就学する頃には目を、思春期から自立期には心を離さない。きっと、誰でも、言われなくてもわかっていることに違いない。けれど、個展などで子育ても終わった年齢の方々へ出逢うと、「自分が子育てしているときに、この言



ずに意識して子育てをする事が後々に穴埋めをする事にならないのでは、と思うのです。心にできた隙間は、いつかは埋めようと思いが働くもので、子供の時のように駄々をこねたり、反抗してみたくなったりという事が、大人になってからは通用しなくなってしまうます。そうすると、長引く穴埋めとなってしまうのです。しかしながら、人間完璧なわけではありません。その時にはどうしたら良いのか、時間をかけ考えながら生きるのも一つの幸せに向かっていることに違いないのだと思います。

### 手書きイベント

秋保木の家（仙台市太白区秋保町湯元字馬乙二）の手仕事館で毎月最後の日曜日に書き下ろしをしています。最近、じぞうもじの書き下ろしに木の家を訪れてくれる方が増えてきました。一度いらした方が再度書いて欲しいと訪れてくだ



### じぞうもじ展のご案内

さり、お話をゆつくりとできることは本当に嬉しく思います。これからも毎月最後の日曜日は皆様とお逢い出来るのを楽しみにしています。

☆龍寶寺客殿にて

仙台市青葉区八幡 4-8-32

(大崎八幡宮隣)

五月三日(土)～五日(月)

午前十時半～午後五時

(最終日は三時まで)

じぞうもじ展でお待ちしています。

### じぞうもじカレンダー

大変好評いただいております「じぞうもじ」カレンダーを来年もいかがでしょうか？

☆2015年カレンダーを製作中です。ご予約承り中です。20部から作家手書きによるお名前、企業名入りカレンダーも作る事が出来ます。お問い合わせください。

□じぞうもじ新聞・じぞうもじについてのお問い合わせは、こちらまで

090-6221-6611

あなたの心が幸せでいっぱいになりますように。夕深